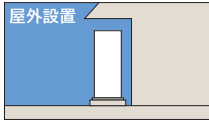
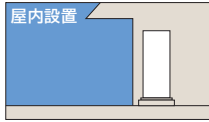


設置場所について



雨避けの小屋や囲いは不要です。
(積雪の多い地域では囲いが必要)



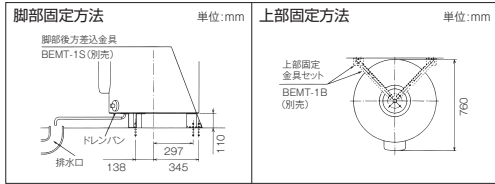
万一のタンク漏水時に配慮したドレンパン内蔵等の機種です。
※必ず完全防水処理、排水処理を施した床面に据え付けてください。

スタンダードマイコン(給湯専用)[丸型タンク]・スタンダード(給湯専用)[丸型タンク]の施工および設置に関するご注意

減圧弁、逃し弁および安全弁は内蔵していませんので、必ず現地準備ください。寒冷地に設置する場合の減圧弁および逃し弁は、寒冷地仕様をご使用ください。軒下・屋外に設置する場合の減圧弁は、寒冷地仕様をご使用ください。階下給湯する場合の逃し弁は負圧防止装置付をご使用ください。減圧弁、逃し弁および安全弁は日立純正品をおすすめします。

スタンダードマイコン(給湯専用)[丸型タンク]・スタンダード(給湯専用)[丸型タンク]の屋内設置仕様について

本体にドレンパンを内蔵しているのでドレンパンからの排水施工によってタンクから水が漏れても排水が可能です。また後部アンカーボルトの固定が困難な場合は脚部後方差込金具BEMT-1S(別売)、上部固定金具セットBEMT-1B(別売)を使用することで本体を固定することができます。必ず完全防水処理、排水処理を施した床面に据え付けてください。



設置場所についてのご注意

- 最低外気温度が-10℃を下回る地域では、屋外に据え付けないでください。
- 塩害地(海浜地区で潮風が直接当たる場所)に据え付ける場合は、本体周辺の雨覆い、風覆いを行ってください。
- 配管による放熱ロスを少なくするため、できるだけ給湯場所に近い所をお選びください。
- 雨水が集中して落下する場所、積雪で埋もれるような場所には据え付けしないでください。
- 電気温水器を設置する際の建物とのすきま寸法は、各地域の火災予防条例に従ってください。
- 電気温水器は、水漏れがおきた場合、大きな被害につながるおそれがあります。特に屋内(機械室など)に据え付ける場合は、必ず完全防水処理、排水処理を施した床面に据え付け、電気温水器の周囲を防水堤(100mm以上)で囲んでください。

水質についてのご注意

- 水は、必ず水道法第4条に基づく水質基準に関する省令の水質基準(厚生労働省令第101号)に適合した水をご使用ください。また、塩分、石灰分、その他不純物が使用水に含まれていたり、酸性水質の地域では、電気温水器の使用を避けてください。水質によっては、電気温水器本体、

減圧弁、逃し弁、熱交換器、電気ヒーター等の寿命が通常より短くなることがあります。特に、井戸水、地下水、温泉水では、機器の故障のおそれがありますので使用できません。

施工に関するご注意

- 工事説明書に従い、施工を行ってください。
- 電気温水器は、必ずアンカーボルトにて固定してください。また、転倒防止金具で電気温水器を固定してください。地震などにより倒れてケガをするおそれがあります。
- 電気温水器は、テレビ・ラジオ・無線などのアンテナより3m以上離してください。
- 既設配管に接続する場合は、配管の水漏れに注意してください。老朽化した配管は、給湯圧力の変化により水漏れをおこすおそれがあります。
- 太陽熱温水器から電気温水器への給水は行わないでください。

- 電気温水器は、最大20L/分程度排水されますので、十分排水できる排水工事を行ってください。
- 現地排水管には必ず排水トラップを設けてください。排水トラップがないと浄化槽などから下水ガスが逆流して電気温水器が著しく腐食し故障の原因となります。また、排水トラップは耐熱性のある部材をご使用ください。
- 据え付け後、凍結するおそれのある地域で長期間使用しない場合は、完全な水抜き作業を行ってください。

配管の施工に関するご注意

- 上水道に直結する場合は、設置する地域の水道条例に基づき、認定水道工事が施工してください。
- 配管材料は、耐熱性・耐水性・耐酸性のある材料を使用してください。
- 保温工事があっても外気温が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので、凍結が予想されるすべての配管には、工事説明書に従い凍結防止ヒーターの取付など凍結防止工事を行ってください。
- 給湯配管
 - ◆階下給湯を行う場合は、階下の混合水栓と電気温水器の設置面までの高さは-3.5m以内としてください。

電気温水器使用上に関するご注意

- シングルレバー混合水栓および手元スイッチストップシャワー、マッサージシャワーなどの多機能シャワーヘッドを使用すると、流量が少なくなることがあります。
- 浴室、台所、洗面所などで2か所以上同時にお湯を使用すると、流量が少なくなることがあります。
- 混合水栓および浴そう循環口からの給湯温度は、配管からの放熱により、設定温度より低めになることがあります。
- 台所など手元でお湯と水を混ぜせず、お湯を使用する場合、給湯温度がばらつく場合があります。
- 混合水栓を開けても、すぐにお湯が出ないことがあります。

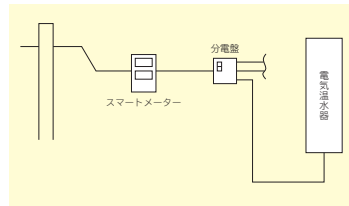
青い汚れについてのお知らせおよびお手入れ方法

- 浴そうの水が青く見えたり、タウル・浴そう壁などが青くなる場合があります。これは水中に含まれるわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応して起こるもので、人体に害はありません。青い汚れは、給湯機の使い始めの時期に発生しやすく、時間経過とともに発生しにくくなります。

電気工事に関するご注意

- 電気温水器の設置には、電気工事がが必要です。配線方法は、電力契約によって異なります。販売店・工事店または契約先電力会社にお問い合わせください。
- 電気工事は、電気設備技術基準および内線規程に基づいて、必ず指定工事業者が行ってください。
- 保護アース(接地)工事は、万一の感電事故防止のため、電気設備技術基準および内線規程に基づいて、必ず電気工事士によるD種(第3種)接地工事を行ってください。

■電源引込み配線例



■電気温水器のブレーカー定格と電源ケーブルの太さ

タイプ	タンク容量	定格消費電力(50/60Hz)	ブレーカー定格	ケーブルの太さ(VV)
スタンダードマイコン(給湯専用)	460L	5.401kW	40A	8mm ² (φ3.2mm)
	370L	4.401kW	30A	φ2.6mm
	300L	3.401kW	30A	φ2.6mm
	200L	2.401kW	20A	φ1.6mm
	150L	2.401kW	20A	φ1.6mm

※CV線を使用する場合、ケーブルの太さ等は内線規程を参照ください。

※本配線例ではスタンダード(給湯専用)はご使用できません。スタンダード(給湯専用)については販売店・工事店または契約先電力会社にご相談ください。また、スタンダードマイコン(給湯専用)はリモコンが必要です。

以上の内容および取扱説明書・工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については、保証期間内であっても無償保証の対象外となります。